

# 議 事 録

会 議 名	令和5年度 第1回 釧路市障がい者自立支援協議会 全体会	
事 務 局	釧路市障がい福祉課 釧路市障がい者基幹相談支援センター	
開催日時	令和5年6月27日(火) 16:00~17:00	
開催場所	釧路市防災庁舎5階会議室 A・B	
出席者	部会員	出席20名 戸田全体会長(北海道教育大学釧路校)、高瀬全体副会長(釧路市社会福祉協議会) 他18名
	その他	なし
	傍聴者	なし
	事務局	出席6名 辻野・小林・鈴木(釧路市 障がい福祉課) 柿沼・林・吉川(釧路市障がい者基幹相談支援センター) (敬称略)
会議次第	<p>1. 開 会</p> <p>2. 挨拶 全体会長 戸田 竜也</p> <p>3. 議 事</p> <p>(1) 令和5年度の役員体制およびスケジュールについて</p> <p>(2) 釧路市障がい者自立支援協議会運営会・定例会の状況について</p> <p>(3) 第7期障がい福祉計画、第3期障がい児福祉計画について</p> <p>(4) 障がい者地域生活支援拠点等事業について</p> <p>(5) 令和5年度 障がい福祉課主要事業の概要について</p> <p>(6) その他</p> <p>4. 閉 会</p>	

# 議 事 内 容

## 1. 開 会

## 2. 挨拶

釧路市障がい者自立支援協議会 全体会長 戸田 竜也

## 3. 議 事

### (1) 令和5年度の役員体制およびスケジュールについて

#### ○事務局より

- ・資料1「釧路市障がい者自立支援協議会 全体会委員名簿」を説明。
- ・下記団体は委員の変更あり。
  - 一般社団法人釧路身体障害者福祉協会：畑山氏⇒石原氏
  - 釧路総合振興局保健環境部保健行政室（北海道釧路保健所）健康推進課：後藤氏⇒宮川氏
  - 釧路市学校教育部教育支援課：渡邊氏⇒成田氏
- ・資料2「令和5年度 釧路市障がい者自立支援協議会 役員名簿」を説明。
- ・資料3「令和5年度 釧路市障がい者自立支援協議会 スケジュール」を説明。

#### ○委員からの質疑応答及び意見

- ・なし

### (2) 釧路市障がい者自立支援協議会運営会・定例会の状況について

#### ○和泉運営会長より

- ・資料4「令和5年度 釧路市障がい者自立支援協議会 運営会・定例会の活動状況」に基づき、運営会の活動状況を報告。

#### ○佐々木定例会議長より

- ・資料4「令和5年度 釧路市障がい者自立支援協議会 運営会・定例会の活動状況」に基づき、定例会の活動状況を報告。

#### 各部会の活動計画(抜粋)

##### <相談支援部会>

年4回開催予定。「地域で暮らす」をテーマに部会を行う。  
年間を通して、子どもや精神分野などの小グループ単位のプログラムを実施。

##### <生活支援部会>

年4回開催予定。事例紹介を中心に、各事業所と情報共有を行っていく。

##### <権利擁護部会>

年3回開催予定。部会長がインタビューする形で、各機関の役割や活動内容を共有する。  
また、困難事例等についてケース検討を行う。

##### <雇用就労部会>

年5回開催予定。部会員のアンケートをもとに活動計画を立案し、8月は「工賃向上の取り組み」をテーマに、職親会主催の研修に参加。

12月は就労選択支援事業をテーマに講演予定。

##### <教育療育部会>

部会は年4回、医療的ケア児者検討会議は年2回開催を予定。  
なお、研修会を9月に予定している。

○委員からの質疑応答及び意見

- ・なし

(3) 第7期障がい福祉計画、第3期障がい児福祉計画について

○事務局より

- ・資料5「令和5年度 釧路市障がい福祉計画・釧路市障がい児福祉計画策定スケジュール」を説明。
- ・各専門部会にて、サービス見込量等数値目標を協議し、7月14日（金）までに提出するよう依頼している。また、関係団体に、日常生活の困りごと、要望などの意見聴取の場を設定している。
- ・今後の予定として、10月～12月に素案、2月の完成案の報告を予定。

○委員からの質疑応答及び意見

- ・なし

(4) 障がい者地域生活支援拠点等事業について

○事務局より

- ・資料6「釧路市障がい者地域生活支援拠点等事業の報告について」を説明。
- ・地域支援機能として、相談支援、体験の機会の確保、緊急時の受け入れ対応、専門的人材の育成や確保、地域の支援体制のづくりの5つがあり、主な報告事項は、緊急時の受け入れ対応と相談についてである。
- ・現在、登録に向けて1名相談中。相談支援事業所の相談員と協議し、電動車イスを利用しているが、親に何かがあった際の対応…例えば、連絡手段の方法などを一緒に考えていく。
- ・今後、地域生活支援拠点事業の周知および、利用しやすい形になるように整備していく。

○委員からの質疑応答及び意見

- ・相談したい方はいるが、コロナ禍で相談しづらい状況となっていた。現在は、ショートステイの体験を受け入れてくれているのか。  
⇒この数年の間は、体験がしづらい状況であったが、今後、相談があれば体験できる場を一緒に探すことは可能。
- ・児童の方で、強度行動障がいの子どもの受け入れが出来なく困っている。専門性のある人材を切望している。
- ・医療的ケア児の支援については、看護師の絶対数が少ない。

(5) 令和5年度 障がい福祉課主要事業の概要について

○事務局より

- ・資料7「令和5年度 障がい福祉課主要事業」を説明。

○委員からの質疑応答及び意見

- ・なし

(6) その他

<第61回北海道障がい者スポーツ大会の開催について>

○事務局より

- ・資料8「第61回北海道障がい者スポーツ大会の開催について」を説明。

○委員からの質疑応答及び意見

- ・障がいや難病に対して理解や認知度が低いと感じている。北海道障がい者スポーツ大会につ

いて、学生などに見学の周知を呼びかけているのか。

⇒中学校、高校や関係機関にはポスターを配布予定。学校単位での見学としては呼びかけをしていない。そのほか、来場される方にはPRをしていきたい。

#### <障がい者基幹相談支援センターの紹介>

##### ○事務局より

- ・今年度より、釧路のぞみ協会にて『釧路市障がい者基幹相談支援センター』を受託。新体制での運営となり、相談員3名が担当。今後とも、協力をお願いしたい。

#### <関係機関から>

##### ○釧路盲人福祉協会より

- ・釧路では白杖を使用して歩いている人をほぼ見かけない。家の中で生活をしていると思われる。
- ・便利になればなるほど、視覚障がい者にとっては不便になることもある。例えば、車の音が静かになると、危険を感じる場面が増える。
- ・スーパーには、人が少ない時間帯に行くようにするなど、視覚障がい者の方たちは迷惑をかけないように行動している。

##### ○北海道難病連釧路支部より

- ・最近では、特に一人暮らしの難病の方が不安になっている。
- ・以前は保健所の方が訪問し、話を聞きに来てくれていたが、コロナ禍になってからは少なくなってしまった。サポート体制を考えてほしい。

##### ○手をつなぐ育成会より

- ・5類になり、通常通りの運営に変わりつつある。
  - ・強度行動障がいのある方を安心して預けられる専門性のある支援者の確保を望んでいる。
  - ・マイナンバーカードと保険証が紐づけされることになっているが、支援者の方に預けて通院することもある。家族以外の人に暗証番号を伝える場面が出てくると思われるが、暗証番号について、簡単に変更はできるのか。
- ⇒変更は可能であると思うが、時間は要すると思われる。

##### ○釧路肢体不自由児者父母の会より

- ・現状では、車いすを製作できる業者は札幌にしかなく、1台作るのに1年かかることもある。車いす業者を釧路の中で育てることができるといい。

## 4. 閉 会